

水仙也三日見ば花てうら海

在京  
紗言

多山や榊や幸をたすまをさる

洛  
松蒼

妻前れやうし路海に日就る、土卵

一海りもや落り松山のはれ方、芦涯

岸を海や風号して来れ人ゆえる  
東武  
負松

みれも留る初れを海もはぬ

終るいさへしと神と曉すのー

声とる老れ耳めも終るこれ

神印はうらまや月し心次  
洛芭蕉堂  
闌更

